



# 平成29年度 山県市教育センター要覧

## 若手が育つ学校はよい学校・・・

山県市教育センター所長 鬼頭 立城

若手が育つ学校がよい学校と言えます。その理由をA教諭（初任者）の実践を通して述べます。

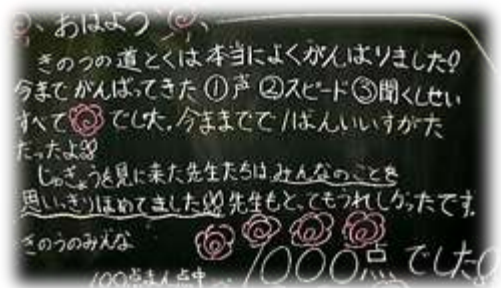
A教諭（初任者）は、児童理解を大切に、教室経営や学級経営を進める努力を続けました。

A教諭にとって、下の実践等を通して、教育者としての資質・能力の向上につながっていききました。

また、A教諭にかかわった教職員にとっては、A教諭への指導・支援やその成果を通して自らの実践を振り返ることとなりました。

### 【実践1】遠回りをして教室に

- ◆ 朝や放課後、教室に行くまでに、他の教室を見て回ったりそこで仕事をする先輩教職員とコミュニケーションを図ったりと意図的に実践しました。
- A教諭にとって、「何のための取組か、掲示物か」等の教育活動の目的や意味を理解し、児童への指導・支援等に生かしていくことができました。
- また、A教諭からの素朴な質問等は、かかわった教職員の教育理論やこれまでの実践を揺さぶり、さらに見本となる教育実践への意欲につながりました。



① 黒板メッセージ

### 【実践2】規律と親和的な人間関係を大切に作る学級経営

#### ① 黒板メッセージで「よいこと」の啓発と徹底

- ◆ 学校や学年・学級のこだわりの規律の徹底を「よいこと」の位置付け・価値付け・方向付けというねらいで黒板に書き続けました。
- A教諭は、児童からの反応や、かかわる教職員のアドバイスを受け、児童理解と指導技術等を学びました。
- かかわった教職員は、お互いに児童を見る目を磨き合いよいこと見付けとその発信について学ぶこととなりました。

#### ② 児童の話聞くこと・児童と遊ぶこと

- ◆ 毎日、学級全員の児童と話をすることと学級遊びには必ず参加することに努力しました。
- 児童と向き合う時間を生み出すため、かかわる教職員のアドバイスや協力を得ながら授業準備等を遺漏なく進める勤務の仕方を工夫しました。
- かかわった教職員は、お互いの勤務の仕方を見つめることを通して、児童に軸足をのいた勤務の適正化等について考えることとなりました。



② あねノート

このような「規律の徹底」や「自己有用感の育成」を図る実践が、A教諭だけの取組に終わらず全校的な取組へと発展していききました。すなわち、若手を通して全体が育っているよい学校と言えるわけです。

次期学習指導要領では、統一的関連的な三つの資質・能力「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性」「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」が示されました。これらの資質・能力を児童生徒に付けていくのは、私たち教職員です。山県市立学校の全職員は、児童生徒に軸足を置き、若手が育つ温かく切磋琢磨できる教職員集団、「チームYAMAGATA」の一員です。

チーム  
YAMAGATA

生涯学習の基礎を培い、特色ある学校づくりを推進する  
「分かる授業、心にひびく教育」

学び意味や喜びを味わえる学習

児童生徒のよさを生み出す環境

信頼に満ちた安心・安全な学校

### 3つの教育実践

① 規律の徹底

② 確かな学力の定着

③ 自己有用感の育成

# 平成29年度 山県市教育センター事業



## 研 修

### 1 基本研修

名 称	内 容	対 象	月 日
1 新赴任者研修会	山県市に初めて赴任する教職員が,市全般について学び教育に生かす。	新赴任者 (初任者を除く)	6/01
2 初任者教員研修会	新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。	新規採用教員	7/04 8/21 11/07 12/12
3 2年目研修会	採用2年目の教員が互いの実践を交流したり課題を追求したりすることを通して,一層の資質向上を図る。	採用2年目教員 (直採講師研と合同)	5/31 7/25
4 3・6年目合同研修会	教職1校目・2校目の教員が実践交流をし,今後の教員としてのあり方を考える。	採用3・6年目教員	10/5
5 直採講師研修会	児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得する。	直採講師+参加希望講師(2年目研と合同)	5/31 7/25
6 学習支援員・教育ポーター研修会	児童生徒への具体的な支援のあり方や,支援者としての資質向上を図る研修をする。	学習支援員 教育サポーター	5/08 6/12
7 図書館主任 読書指導員研修会	図書館主任・読書指導員としての職務及び読書指導の研修をする。 *2回目は,読書指導員のみが参加。	図書館主任 読書指導員	6/14 (合同) 6/14 2/15
8 特別支援 コーディネーター研修会	特別支援コーディネーターの資質の向上を図る研修をする。	特別支援コーディネーター	6/09 11/10

### 2 自己啓発研修

名 称	内 容	対 象	月 日
9 夏期研修	今日的な課題を解決する知識や技能を身に付け,指導力を高める。	該当者 教職員希望者	7/27 7/28 8/02
10 学校管理運営研修会	学校管理運営や管理職のあり方等について研修する。	リーダー的立場の教員	
11 夏期研修 (剣道実技講習会)	中学校における武道(剣道)指導の基礎と実技を学ぶ。(小の希望者も可)	中学校体育科指導教員(含:免外)	8/07
12 学校づくり コンサルタント	学校が希望する指導者を講師として招き,学校経営の助言を受ける。	各校管理職	希望日



## Ⅱ 調査・研究

	名 称	内 容	対 象	月 日
21	スタートプログラム 活用研修会	小学校生活スタート時の具体的な指導法を交流し合い、指導に生かす。	小1担任全員	5/12
22	学力向上推進協議会	各校の学力定着等の取り組み状況の交流・検討を通して、基礎学力の向上を図る。	学力向上推進教師	6/22 2/20
23	情報教育推進委員会	情報教育の推進及び充実により、教育情報の有効な活用や教育活動の質的改善を図る。	推進委員	5/16
24	社会科副教材 作成委員会	社会科の教科書の内容にあわせ、市の文化・自然・社会の教材化を図る。	作成委員	5/17 7/31 2/02



## Ⅲ 情報収集・発信

31	教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
32	図書、月刊誌、研修冊子、指導案	センター図書として蔵書
33	テラステーション	市教研、校内研の授業案、社会科副教材等のデータ
34	教育センターだより「いしずえ」	センター関連記事の掲載
35	なんでも相談コーナー	教育関連の相談事
36	図書貸出	各学校で共通活用できる図書の貸出 (含：大型絵本 教科書)
37	廃棄図書活用	各学校で廃棄処分した図書を施設で活用



## Ⅳ 教育相談

### 1 適応指導

**趣 旨** 不登校の児童生徒に対し指導・援助を行い、自立を支援することによって、学校生活への復帰を図る。

#### ① 生活指導員による支援（長期休業日を除く）

教室 コスモス教室 山県市教育センター内 TEL：52-1571  
日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時30分（基本）

#### ② 教育相談員による支援

各学校の実態に応じ教育相談員を派遣し教育支援を行う。

## 2 電話相談

趣 旨	学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。		
窓 口	教育センター「コスモス」	TEL :	5 2 - 1 5 7 1
日 時	月曜日～金曜日	午前9時～午後3時30分	

## 3 教育相談研修会

趣 旨 不登校の児童生徒の自立を支援するために、関係者が連携を密にして、よりよい指導・援助の充実を目指す。

研修会

41 ●教育相談担当者研修会 2回 (4/27 9/26)



児童生徒対象

	名 称	内 容	月 日
51	夏休み作品相談	電話で相談を受け付け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を目指す。	夏季休業中
52	夏休み作品表彰式 夏休み作品展	優れた作品の表彰を行うと共に作品展を行い、教科学習の促進を図る。	表彰式:9/13 展示:9/9～12
53	夏休み作品づくり	テーマを決めて作り方を工夫し、楽しい作品を作る。 (新聞切り抜き作品)	7/21
54	小学校陸上記録会	小学校児童の陸上競技への関心と記録向上への意欲を高める。	各校で実施
55	小中音楽会	音楽表現（合唱）を通して、音楽活動への意欲を高める。	各校・各地区
56	こどもの市展	作品（図工・美術・書写）のもつよさや美しさにふれ、表現意欲を高める。	書写 11/9～19 絵画 11/23～ 12/3
57	山びこ	体験したことや考えたことなどを書き表し、伝える力を身に付ける。	随時



## 共通物品

教材教具教育機器	和太鼓 (8台)
	大型インクジェットプリンター「カラー A1ノビ」(1台) ノートパソコン プロジェクター スクリーン
諸検査用具	WISC-III (知能検査器具・知能検査記録紙) WISC-IV (知能検査器具・知能検査記録紙) デジタル騒音計 照度計 グッドイナフテスト 箱庭療法用具 S-M社会生活能力検査用紙
VTR DVD	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権教育・・・「歌いたい歌がある」「ラストから始まる」</li> <li>●薬物乱用防止教育・・・「DRUG」「薬物乱用教育」</li> <li>●学校給食衛生管理・・・「ドライ運用の鍵は人」</li> <li>●家庭教育・・・「すばらしき思春期」 「ゆっくり、ゆったり」 「子どもとしつけ」 「頑張り、お父さん」 「家庭教育手帳」 「家庭教育ノート」 「ママとパパに贈るメッセージ」 「子どもの声に耳をすませて」 「地域こぞって子育てを」 など</li> </ul>
教科用図書	小中学校の検定教科書 (各社)
児童用図書	大型絵本など
ゲームなど	屋内用ペタンク グランドゴルフ もちつき用具 (臼, 杵) 焼き杉用具 大鍋 ペタンク キャンドルサービス用具 など

## センター職員

所 長 (学校教育課長)	鬼頭 立城
次 長	杉山 純代
主任教育相談員	山田 光昭
センター学習支援員	神山 基子
センター係長 (事務)	高屋 重義
主 幹 (学校教育課)	森川 勝介
課長補佐 (学校教育課)	山口 正尊
課長補佐 (学校教育課)	宮川 ゆかり
係 長 (学校教育課)	横山 直美
主 幹 (生涯学習課)	水谷 勝彦
課長補佐 (生涯学習課)	藤根 勝
体育協会事務局	和田 全弘

教育相談員 (中学校『教育相談室』)

(高富中) 井藤 康子・鷲見 顕、(美山中・高富中) 神谷 愛子

生活相談員 (適応指導教室『コスモス』)

村瀬 文 ・ 岩間 伸浩 ・ 服部 紀子 ・ 小澤 崇将



## 沿革

平成15年度  
平成16年度

- 山県市教育センター設置
- センター次長配置
- 相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
- 山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
- センター広報誌『いしずえ』初版発行

平成17年度  
平成19年度  
平成20年度  
平成21年度  
平成22年度

- 新規15事業開設
- 事業の整理統合、新規2事業（学校教育）
- 事業の整理統合、新規7事業（教職員研修）
- 学校地域支援本部との連携
- センター移転（旧富波小へ）
- 適応指導教室『コスモス』統合
- 大研修室にエアコン設置

平成23年度

- 主任教育相談員、主任学習支援員配置
- 2階研修室にエアコン設置

平成28年度

- 山県市体育協会事務局を教育センターに配置



## 山県市教育センター

〒501-2257 岐阜県山県市富永495番地  
 TEL. 0581-52-1007  
 FAX. 0581-51-0030  
 E-mail. [k-center@yamagata-gifu.ed.jp](mailto:k-center@yamagata-gifu.ed.jp)

